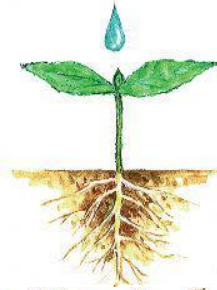


漢方 小児科 婦人科 内科 産科  
浮田医院  
だより



第 90 号  
医療法人 せゝらぎ会  
発行所：浮田医院  
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28  
TEL 0740-32-3751  
FAX 0740-32-3795  
ホームページ：http://www.ukita.gr.jp  
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp  
発行日：2010年 9月 5日(日)  
発行者：浮田 徹也



# 漢方薬のよさ(90)

## 老人と漢方



暑い日々が続きました。まだまだ

残暑が続きます。私の庭でも白、ブルー、赤紫などのアサガオの花が例年と同様咲き誇っていました。慣れた花ですが皆の心を癒してくれたのではありませんか？先日、中国の方々と一緒に麺や中華風クレープを作る機会に恵まれました。まず、生地をこね球状に仕上げ、五ミ程度に細く切り、両手を用いて麺を挽いて一ミ程度の細さにするのですが、今まで麺を挽いた経験もなかったもので、いくらゆっくり挽いてもすぐに切れてしまう麺には苦労しました。やはり細く挽かなければよい味にはなりません。また、びわこ箱館山ゆり園には各種ユリがところ狭しと咲き誇っていました。特に、白とピンクのカサブランカが見事でしたし、ゆり園からのびわ湖の景色やゴンドラ空のびわ湖や高島市の景色は素晴らしいものでした。

老人と漢方のお話です。

高齢になればなるほど、脳卒中、認知症、抑うつ、動脈硬化、骨粗鬆症、膝関節症、腰痛、便秘など色々な病気を併発してきます。漢方薬は多方面の症状に有効で一〇の処方で対応できることが特徴です。年齢をとるにつれ、内臓や筋肉の機能低下、免疫



萩(源光庵 京都)

力低下などが現れてきます。そこで、低下した機能を高める漢方薬を用いる機会が増えます。特に、腎(先天的、後天的生命力)の働きが低下すると、動脈硬化、白内障、前立腺肥大、足腰弱り、不眠、夜間尿、耳鳴り、記憶低下(痴呆)、浮腫などが、脾(消化吸収作用)の働きが低下すると、胃腸障害(食欲低下)、うつ状態(意欲低下、不眠)、不定愁訴、子宮下垂(脱)、痴呆、便秘、浮腫などが始まります。その他、糖尿病、高血圧症、皮膚掻痒、脳血管障害後遺症(痺れ、痛み、運動障害)、唾液分泌障害(口腔乾燥、口角の沫)等にも応用できます。

実例に移ります。

六十九歳男性、慢性肝炎(1b)、食欲不振、皮膚掻痒、下肢浮腫、手足裏のほてり、不眠、便秘(三日に一回)。二十五年前、輸血後二ヶ月で急性肝炎、それから一〇年後慢性C型肝炎となった。インターフェロン治療を受けたが元治しでない(Gotro, CPT100)。顔色は青黒、やや腹は硬く、胸脇苦満中程、心下痞硬、臍上悸、臍傍抵抗圧痛、舌は暗紅紫色、乾薄黄白苔、舌下静脈怒張、脈は浮、弦、滑、数。そこで、荊芥連翹湯+桂枝茯苓丸+大黃末を処方。一ヶ月後より徐々に便秘、食欲





不振、皮膚掻痒症が軽くなり、半年後体調も良くなったが、高ウイルス量とはりGOTや、GPT値は不変。五年後、体調は良いが、ウイルス量と肝機能は不変。漢方薬を継続中。

七十六女性、**眼精疲労**、二ヶ月前よりパソコン教室に通い始めた。眼の疲れ、眼脂、頭重感、首や肩の凝り、めまいを自覚。顔色良好、脈浮細滑数、舌淡紅色、湿薄(白苔、舌下静脈怒脹(一))。上下腹部は弾力性に欠け、胸脇苦満と胃内停水(十)、臍上下悸(十)。そこで、黄耆、白朮、人參、当歸、柴胡、升麻、陳皮、大棗、甘草、生姜、桂枝、茯苓を処方し、葛根湯を併用。二週間後より徐々に眼の疲労や肩こりなどの症状が改善し始め、六ヶ月後の現在は、症状は消失。今後も継続予定。

七十九歳女性、**高血圧**(一七〇/一〇〇)、食欲良好、便通四日に一回、頭痛、肩こり、下肢浮腫、疲労倦怠。顔色良好、腹部弾力性良好、胸脇苦満(中程度)、心下痞硬、臍上悸、両側臍傍抵抗性痛、脈は浮緊数滑。舌は、暗紫紅色、薄乾白黃苔。そこで、柴胡、黄芩、半夏、枳実、陳皮、厚朴、蘇木、蘇葉、桂枝、芍薬、当歸、大黃、芒硝、甘草、桃仁、牡丹皮、紅花、釣藤鈎、木通、茯苓、大棗、生姜とプロプレス(八)を処方し、塩分を控えるように指導。一ヶ月後、血圧下降(一四〇/九〇)。二ヶ月後、

血圧(一二〇/八〇)、プロプレス(四)に変更。四ヶ月後、血圧(一二〇/八〇)、プロプレス中止。一年後、血圧(一二〇/八〇)。現在(二年後)、食事に注意し、漢方薬を継続。

七十五歳男性、夏まけ、夏の暑さで食欲低下、全身倦怠感、体重減少(二キ)、軟便。顔は紅潮、腹は軟、右胸脇苦満、脈は浮細滑数。舌は紅色、乾黄白色苔。そこで、点滴(補液)と共に清暑益氣湯(近製)を処方。三日後には、食欲や意欲回復。三週間分服用して廃棄。

七十二女性、めまいとむくみ(起床困難で起床におよそ一時間かかる)、歩行時フラフラする、足の冷え、食欲不振、便秘(二週間)、時々頭痛。顔色青白、脈沈細弱遅、舌淡紅白色、湿薄白灰苔、舌下静脈怒脹(一)。上下腹部は弾力性なく、胃内停水、臍上下悸、臍下不仁(下腹部がフニャフニャ)、正中芯(下腹部中央に細い線状物)の所見。そこで、真武湯を処方。一週間後、なんとなく体が温まってくる。三週間後、起床し易くなってくる。六週間後、めまいやむくみが減少。八週間後、依然として、食が細い。そこで、真武湯+四君子湯に変更。三ヶ月後、やや体重上昇(一十二キ)。一年後、ほぼ症状消失。現在、継続中。次回は、**慢性肝炎I**です。

「院長」



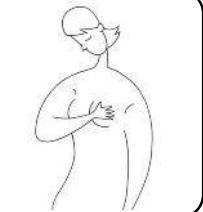
### 三 叉 神 經 痛

突発する激しい顔面の一側性の痛みで、疼痛発作が反復し出現します。この痛みは、会話、食事、洗顔、化粧などにより誘発されます。原因は、微小血管による三叉神経の圧迫です。疼痛は2～10秒のことが多く、やや女性に多いようです。腫瘍や感染や外傷が原因のこともあります。治療は内服薬(西洋薬や漢方薬)ですが、無効の場合、神経ブロックや微小血管減圧術でよくなることもあります。



### 乳 腺 炎

お乳が赤くはれ、痛み、発熱を伴います。時には頭痛、悪寒、食欲低下、便秘、尿量減少を伴うこともあります。乳房マッサージ、乳房の安静(冷却)、漢方薬、抗生物質、自然植物によるシップを利用しています。予防は、乳房の自己管理で、乳房と乳首の手入れを怠らず、乳汁のうっ滞や肩こりを感じるときには、当院の漢方薬(エキス剤(乳腺①号、乳腺②号)、煎じ薬)の服用をお薦めします。乳房マッサージも適宜実施いたします。



### 慢 性 肝 炎

慢性肝炎には慢性B型肝炎と慢性C型肝炎があります。いずれの肝炎もウイルス量が少なく、抗体ができ始めれば、インターフェロン治療を始めるべきです。また、肝保護剤(B、C)や抗ウイルス療法(B)を併用することもあります。しかし、ウイルス量が多い場合やインターフェロンなどの治療が無効の場合、漢方薬治療で体調(全身倦怠感、食欲不振、肌荒れ)を調える治療も有効な場合があります。



## 当院の漢方治療



### 剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
  - ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分**煮て作ります。
- 当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
- 漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

### 適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

#### ・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

#### ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

### エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

### 女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

### 骨量測定(4～6ヶ月ごと)

**1分で測定**(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

### 予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります(予約制、2回/月)。  
午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時  
3時～3時20分、3時20分～3時40分。  
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

### アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏・アガリクス・メシマコブ
- ・靈芝・AHCC・サメ軟骨・快歩楽

### 漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

### 健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

### 在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。

**在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。**

### スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

### 予防接種 ワクチン接種

インフルエンザ(季節型、新型)、三種混合(DPT)、BCG、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、子宮頸癌予防ワクチン肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)

### 皮内針 針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治に適しています。



## 外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分。電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

## 前期と中期-母親教室

9月4日(土)・10月9日(土)

## 後期-母親教室

9月8日(水)・18日(土)  
10月2日(土)・13日(水)・30日(水)

## 母親教室のご案内

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。(申込ノートにお名前の記入をお願いします。)

母親教室では「母と子のてびき」にそって、お話をすすめていきます。

ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。

参加時には「母と子のてびき」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



## 和田東郭(1744～1803)

摂津高槻藩藩医和田祇忠の3男として生まれ、戸田旭山と吉益東洞に師事。「一切の治療は古方を主とし、その不足を後世方をもって補うべし」と唱えた。著作はないが、門人の筆談による「蕉窓雑話」「世医ややもすれば簡を以て粗と為し、繁を以て精と為す。哀しきかな」とある。「導水瑣言」「蕉窓方意解」「東郭医談」「傷寒論正文解」「東郭腹診録」などがある。古方も後世方も処方した漢方家であったので、「折衷派」と呼ばれている。



## 分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡しします。

## 4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。  
火曜日と木曜日(掲示をご覧ください)

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)  
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)  
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)  
老人医療のページ(在宅療養の支援)  
健康のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)  
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

## 産後相談 母乳相談(助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。  
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。  
日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

## 正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。  
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。  
分娩希望の方はすべて受け付けています。

## 里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠23～25週(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

## 赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。  
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

## 入院食(手作り)

心のごもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。

## 産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)。  
詳細は受付でお聞きください。